



Kenko

ケンコー  
デジタルカメラ  
**DSC 80Z**

取扱説明書

このたびはデジタルカメラ「DSC 80Z」をお買い上げいただき、  
ありがとうございます。

ご使用の前には必ず取扱説明書をよくお読みいただき、安全に  
正しくお使いください。また、取扱説明書は必ず大切に保管し  
ておいてください。



# 目次

<b>はじめに</b>	<b>03</b>
<b>安全上のご注意</b>	<b>04</b>
<b>カメラの紹介</b>	<b>06</b>
セット内容	06
各部の名称	07
<b>ご使用の前に</b>	<b>09</b>
液晶モニタアイコン	09
静止画モード	09
動画モード	10
再生モード(静止画)	11
再生モード(動画)	11
ストラップの装着	12
電池の装着	12
SD／SDHCメモリカードを使用する場合	13
SD／SDHCメモリカードを装着する	13
SD／SDHCメモリカードを使用する前に	14
ファイル名／ディレクトリ名を変更しない	14
メモリのフォーマット	15
日付と時刻の設定	16
言語の設定	16
<b>静止画モード</b>	<b>17</b>
静止画の撮影	17
顔検出機能	17
シーンモード	18
ズーム撮影	19
露出補正／逆光補正	20
撮影状況別設定例	20
撮影距離	21
セルフタイマー	22
フラッシュ撮影	23
<b>動画モード</b>	<b>24</b>
動画の撮影	24
<b>再生モード</b>	<b>25</b>
静止画の再生	25
サムネイル表示	25
動画の再生	26
削除	26
<b>詳細機能設定 静止画メニュー</b>	<b>27</b>
静止画メニュー	27
静止画サイズ	27
画質	28
色効果	28
ホワイトバランス	28
マニュアルWB	29
ISO感度	29
測光方式	30
シャープネス	30
彩度	30
<b>詳細機能設定 静止画機能メニュー</b>	<b>31</b>
静止画機能メニュー	31
撮影	31
日付プリント	32
プレビュ	32
デジタルズーム	32
<b>詳細機能設定 動画メニュー</b>	<b>33</b>
動画メニュー	33
動画サイズ	33
色効果	33
<b>詳細機能設定 再生メニュー</b>	<b>34</b>
再生メニュー	34
赤目修正	34
スライドショ	35
DPOF	35
保護	38
液晶輝度	39
カードへコピー	39
<b>詳細機能設定 基本設定メニュー</b>	<b>40</b>
基本設定メニュー	40
ビープ音	41
日付／時刻	41
表示言語	41
フォルダ作成	41
液晶輝度	42
自動電源オフ	42
電源周波数	42
初期設定	43
フォーマット	43
カード情報	43
システム情報	43
<b>PCカメラとして使用する</b>	<b>44</b>
PCカメラドライバのインストール	44
パソコンへ接続する	45
Macintoshの場合	45
転送時のご注意	45
<b>付属アプリケーション</b>	<b>46</b>
付属アプリケーションのインストール	46
MEDIAONE GALLERYをインストールする	46
<b>プリンタとの接続</b>	<b>48</b>
ダイレクトプリント	48
<b>記録可能枚数／時間の目安</b>	<b>51</b>
静止画の記録可能枚数	51
動画の記録可能時間	51
<b>トラブルシューティング</b>	<b>52</b>
電源	52
撮影	52
再生	52
コンピュータ／ソフトウェアのインストール	52
<b>仕様</b>	<b>53</b>
製品仕様	53
必要システム	54
<b>保証規定</b>	<b>55</b>



# はじめに

このたびは、デジタルカメラ「DSC80Z」をお買い上げいただき誠にありがとうございます。ご使用の前に、この取扱説明書と保証書をよくお読みのうえ、正しくお使いください。また、お読みになったあとは、いつでも見られるところに大切に保管してください。

ご使用前にお読みください。

- 結婚式や旅行など大切な撮影の前には必ず事前にテスト撮影を行ってください。
- 著作権や肖像権などにお気をつけください。撮影を制限されている場所もありますのでお気をつけください。  
また、プライバシーを侵害するような撮影は行わないでください。
- 本製品の故障およびその他の理由により生じた画像データの破損、消失による利益損失、損害などに関し、当社は一切の責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。
- 本製品の使用および故障により生じた直接、間接の損害に関し、当社は一切の責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。
- 本取扱説明書の図、写真、パソコンディスプレイの画面などは説明のために作成したものです。一部実際とは異なります。
- 本製品に付属しているソフトウェアを営利目的として無断でコピーしたり配布することは禁止されています。
- 本取扱説明書の内容の一部もしくは全部を無断で複写することは、個人で楽しまれる場合を除き禁止されています。
- 製品改良のため予告なく外観、仕様などを変更することがあります。
- 本取扱説明書に記載のシステム名、商品名および会社名は各社の商標または登録商標です。
- カメラを長時間使用するとカメラ本体が熱くなります。これは異常ではありません。



# 安全上のご注意

必ずお読みください。

本製品を安全にご使用いただくために、下記の項目をご使用前に必ずお読みになり、正しくお使いください。

本製品を正しくご使用いただき、お使いになる人や他の人々への危害と財産への損害を未然に防止するために、次の絵表示で説明しています。

△危険	△警告	△注意
この指示に従わないで誤った取扱をすると、人が死亡または重傷を負う切迫した危険の発生が想定される内容です。	この指示に従わないで誤った取扱をすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容です。	この指示に従わないで誤った取扱をすると、人が障害を負う可能性または、物的損害が生じる可能性が想定される内容です。

## △危険

- 可燃性ガス、爆発性ガスなどが、大気中に存在する恐れのある場所での本製品の使用はおやめください。引火・爆発の原因となります。
- 本製品を分解したり、直接ハンダ付けするなどの加工および、火中投入などは行わないでください。発熱、発火、破裂の危険があります。
- 本製品を高温の場所(真夏の車内、窓辺、暖房器具のそばなど)で使用、保管しないでください。

## △警告

- 本製品で太陽または強い光源を見ることは絶対にしないでください。失明など永久視力障害の原因となります。
- 目に深刻な損傷を与える恐れがありますので、近距離(1メートル以内)でフラッシュを発光させないでください。
- 本製品を歩行中、または運転中に絶対使用しないでください。交通事故の原因となります。
- 本製品を足場の悪い環境や、不安定な場所で使用しないでください。事故の原因となります。
- 本製品は防水構造ではありません。水をかけたり、濡らしたりしないでください。製品内部に水が入ると火災や感電、故障の原因となります。
- カメラに何らかの液体が入った場合、使用を中止してください。電源を切り、お近くの販売店にお問い合わせください。
- 感電の恐れがありますので、濡れた手でカメラを触らないでください。
- カメラの分解や改造は行わないでください。火災や感電、故障の原因となります。内部の点検や修理は販売店もしくは当社までご依頼ください。
- 本製品を室外で使用中に落雷の恐れがある場合、すみやかに使用をやめてください。事故の原因になります。



# 安全上のご注意

必ずお読みください。

## △ 警 告

- 小さな付属品を飲み込む恐れがありますので、お子様やペットの手の届く範囲にカメラを放置しないでください。
- ケーブルやストラップが首に巻き付くと窒息の危険があります。お子様の手の届かないところに保管してください。
- ボリ袋(包装用)などを小さなお子様の手の届くところに置かないでください。口にあてて窒息の原因になることがあります。

## △ 注意

- 本製品は精密な電子機器です。以下のようないふたつ場所で使用したり放置すると火災や感電、故障の原因となることがありますので避けてください。
  - 砂、ほこり、ちりの多い場所
  - 火の近く
  - 湿ったところ
  - 振動の激しい場所
  - 温度・湿度の変化が激しい場所
- カメラを落としたりぶつけたりして強い振動や衝撃を与えないでください。
- レンズを直射日光に向けて撮影または放置しないでください。  
集光により内部の部品が破損し、火災などの原因となります。
- 電極部分などには一切触れないでください。感電や故障の原因になります。
- 本製品を保管するとき、上に重い物を載せないでください。故障の原因になります。
- 本製品に付属のケーブルを接続するとき、無理矢理入れたり外したりしないでください。故障の原因になります。
- 付属のCD-ROMはパソコン専用のソフトです。音楽用CDプレイヤーで再生することはしないでください。  
聴覚障害を引き起こす恐れがあります。
- ストラップを持って振り回さないでください。他人に当たり、けがや事故の原因となることがあります。

## その他のご注意

- 電池は、一般に低温になるにしたがって一時的に性能が低下します。寒冷地で使用するときは、本製品を防寒具や衣服の内側に入れるなどして保温しながら使用してください。低温により性能が低下した電池は、常温に戻ると性能は回復します。
- 撮影条件、使用環境および電池により撮影枚数が減少する場合があります。
- 本製品のレンズや液晶モニタが汚れたとき、市販のクリーニング布で拭き取ってください。  
汚れたままですると、鮮明な写真を撮影することができません。



# カメラの紹介

## ▣ セット内容

以下のセット内容が揃っているかご確認ください。

カメラ本体



USB-PC接続ケーブル



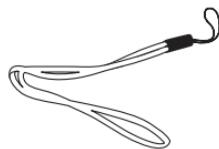
ポーチ



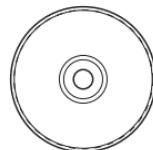
単3アルカリ乾電池(2本)



ストラップ



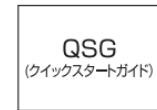
CD-ROM



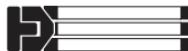
取扱説明書(本書)



クイックスタートガイド



ミニ三脚

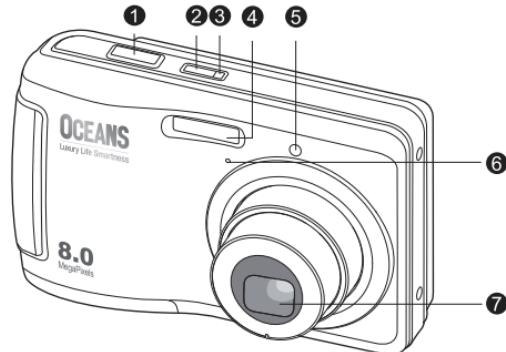




# カメラの紹介

## 各部の名称

前面

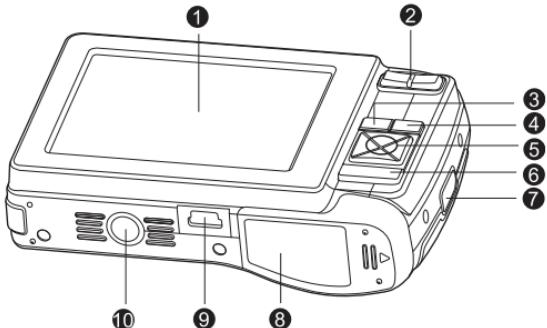


1. シャッターボタン
2. 電源ボタン
3. LEDランプ
4. フラッシュ
5. セルフタイマーLED
6. マイク
7. レンズ



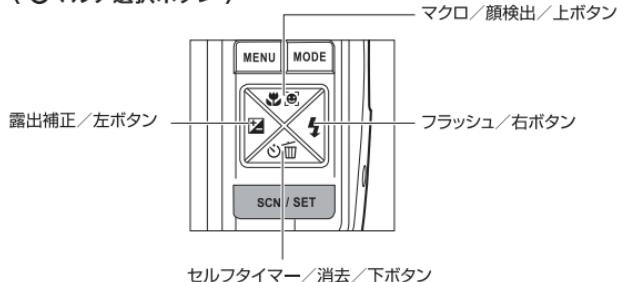
# カメラの紹介

背面



1. 液晶モニタ
2. ズームイン／ズームアウトボタン
3. メニューボタン
4. モードボタン
5. マルチ選択ボタン
6. シーン／OKボタン
7. ストラップ取付穴
8. 電池／SDメモリカードカバー
9. USB接続端子
10. 三脚取付ネジ穴

（⑤マルチ選択ボタン）

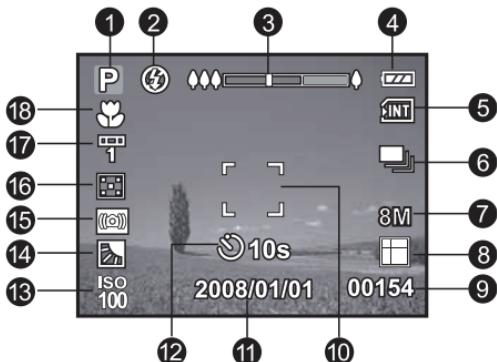




# ご使用の前に

## ■ 液晶モニタアイコン

### ■ 静止画モード



1. モードアイコン

2. フラッシュモード

[ ] 自動発光

[ ] 赤目軽減機能付き発光

[ ] 強制発光

[ ] 発光禁止

3. ズームインジケータ

4. 電池残量

[ ] 電池の残量は充分です。

[ ] 電池の残量は中程度です。

[ ] 残量が少なくなっています。

[ ] 電池を交換してください。

5. メディア

[ ] 内蔵メモリ(外部メモリ無し)

[ ] SD/SDHCメモリカード

6.撮影

[表示無し] 一枚

[ ] 連写(3枚)

[ ] AE連写(AEB)

[ ] マルチ連写

[ ] 発光連写

[ ] テスト撮影

[ ] 2分割撮影

7. 画像サイズ

[ ] 8M (約800万画素)

[ ] 6M (約300万画素)

[ ] 4M (約400万画素)

[ ] 2M (約200万画素)

[ ] 0.3M (約30万画素)

8. 画質

[ ] フайн

[ ] 標準

[ ] エコノミ

9.撮影可能枚数

10.メインフォーカスフレーム

11.日付

12.セルフタイマー

[ ] 10秒

[ ] 2秒

[ ] 10秒+2秒

13. ISO感度

[ ] 逆光露出補正

[ ] 露出補正

15.手ぶれ警告サイン

16.測光

[ ] 平均測光

[ ] 部分測光

17.ホワイトバランス

[表示無し] オート

[ ] 白熱灯

[ ] 蛍光灯1

[ ] 蛍光灯2

[ ] 太陽光

[ ] 曇り

[ ] マニュアル

18. フォーカスマード

[表示無し] オートフォーカス

[ ] 顔認識機能

[ ] マクロ(近接)

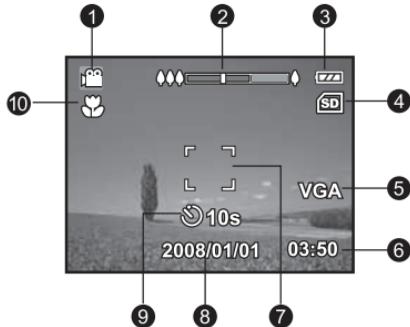
[ ] 無限

※設定により表示されるアイコンは異なります。



# ご使用の前に

## ■ 動画モード



1. 動画モードアイコン
2. ズームインジケーター
3. 電池残量
4. メディア
5. 動画サイズ
6. 撮影可能時間／経過時間
7. メインフォーカスフレーム
8. 日付
9. セルフタイマーアイコン
10. フォーカスマード

※設定により表示されるアイコンは異なります。



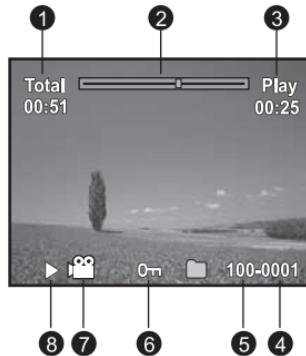
# ご使用の前に

## 再生モード(静止画) ▶



1. 再生モードアイコン
2. ファイル番号
3. フォルダ番号
4. 保護マーク
5. DPOFマーク

## 再生モード(動画) ▶



1. 総記録時間
2. ズームインジケータ
3. 経過時間
4. ファイル番号
5. フォルダ番号
6. 保護マーク
7. 動画モードアイコン
8. 再生モード



# ご使用の前に

## ▣ ストラップの装着

右図を参照して、ストラップを取り付けてください。

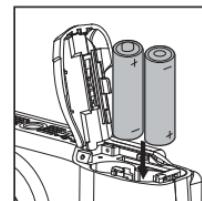


## ▣ 電池の装着

1. 右図を参照して、電池／SDメモリカードカバーをスライドさせて開きます。
2. 電池の+側一側を確認し、単3アルカリ乾電池2本を正しい方向で装着します。
3. 電池／SDメモリカードカバーを閉めます。



- 電池をカメラ本体から着脱する場合は、必ず電源をオフにした状態で行ってください。
- 電池は+−方向に注意し、正しく装着してください。



- ◆電池残量については、液晶モニタ上のバッテリーアイコンに表示されます。
  - 電池の残量は充分です。
  - 電池の残量が半分です。電池交換の準備が必要です。
  - 電池を交換(再充電)してください。
- ◆単3アルカリ乾電池またはニッケル水素充電池をご使用ください。  
ニッケル水素充電池を使用した場合、電池残量表示が均等に表示されませんのでご注意ください。
- ◆オキシライド乾電池は初期電圧が高く、カメラ本体を破損する恐れがあるため、おすすめできません。
- ◆電池をカメラの中に入れたまま長期間カメラを使用しないと、電池が消耗します。カメラを使用しないときは電池を取り出してください。
- ◆カメラの操作に必要な電源を得ることができないマンガン乾電池は、使用できません。
- ◆電池は、気温0°C以下または40°C以上では正常に動作しない場合があります。カメラを長時間使用すると電池およびカメラの本体が熱くなりますが、これは異常ではありません。

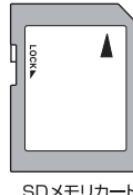


# ご使用の前に

## SD／SDHCメモリカード(別売)を使用する場合

本製品で撮影した画像は、通常カメラ本体の16MB内蔵メモリ(画像保存用メモリは12MB)に記録されます。

SDメモリカード(別売)をカメラ底面のSDメモリカードスロットに装着して撮影・録画すると、撮影・録画した画像は自動的にSDメモリカードに記録されます。



●このカメラに使用できるメモリカードの仕様は、SDメモリカード32MB～2GB、SDHCメモリカード4GBまでです。

その他の種類のカードを使用しますと製品及びカードが故障する可能性があります。

## SD／SDHCメモリカードを装着する

SDメモリカードはカメラ底面にあるSDメモリカードスロットに装着します。

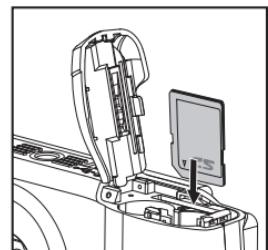
1. カメラの電源をオフにします。
2. 電池／SDメモリカードカバーをスライドさせて開きます。
3. 挿入する方向を確認してから、SDメモリカードをSDメモリカードスロットにカチッと音がするまで押し込みます。  
(SDメモリカードを取り出すときも、カチッと音がするまで押し込んでから取り出します)
4. 電池／SDメモリカードカバーを閉めます。



- ◆新しいSDメモリカードを使用される際は、あらかじめメモリカードの初期化(P.15参照)をしてください。
- ◆差し込みににくい時は、挿入する方向が間違っている可能性があります。無理に挿入しないでください。



- SDメモリカードをカメラ本体から着脱する場合は、必ずカメラの電源をオフにした状態で行ってください。
- データをパソコンに転送している最中に、SDメモリカードをカメラから引き抜かないでください。  
撮影した画像データ、SDメモリカードおよびカメラ本体が破損する恐れがあります。
- すべてのSD／SDHCメモリカードで動作を保証するものではありません。



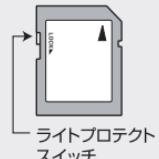


# ご使用の前に

## SD／SDHCメモリカードを使用する前に



- ◆新品のSDメモリカードは使用前に本製品でフォーマット(初期化)してください。
- ◆SDメモリカードを装着すると、カメラはSDメモリカードを認識し、内蔵メモリを認識しません。
- ◆この他にも、取り扱いに関する注意事項がP.3～5に記載されますので必ずよくお読みください。
- ◆下記の注意事項をよくお読みになり、正しい取り扱いを行ってください。
  - パソコンに接続、データ転送中や、撮影／再生中にSDメモリカードを引き抜かない  
パソコンとカメラを接続し、撮影したデータをパソコンに転送している最中や、撮影中または再生中にSDメモリカードをカメラから引き抜かないでください。撮影した画像データ、SDメモリカードおよびカメラ本体が破損する恐れがあります。
  - SDメモリカードのフォーマット(初期化)はカメラで  
本製品にはSDメモリカードをフォーマット(初期化)する機能がついています。  
フォーマットは必ず本製品で行ってください。フォーマットすると既に記録されている画像データは全て消去されますのでご注意ください。
  - ライトプロテクツイッチについて  
SDメモリカードにはライトプロテクツイッチ機能がついています。下にスライドすると、SDメモリカードはロックされ、SDメモリカードへの記録／消去が禁止され、保存されている画像などのデータが保護されます。記録／消去する場合はロックを解除してください。



## ファイル名／ディレクトリ名を変更しない

パソコンでSDメモリカードに保存されている画像データのファイル名やディレクトリ名を変更したり、カメラで記録された画像データ以外のファイルを書き込まないでください。カメラで認識できなくなり、機能に障害がでる恐れがあります。



- SDメモリカードは精密機器ですので、無理な力を加えたり、乱暴に扱わないでください。また、SDメモリカードが静電気を帯びていると、うまく認識されなかったり、カメラの誤作動など障害が起こる恐れがあります。
- SDメモリカードを使用中、誤作動や故障により記録内容が失われることがあります。記録されたデータの破損、消失につきましては、故障や損害の内容および原因にかかわらず、当社では一切の責任を負いかねます。あらかじめご了承ください。
- SDメモリカードに異常があると思われる場合は、フォーマットすることで正常に動作する場合があります。その際は、本製品のフォーマット機能をお試しください。(フォーマットすると、記録されている画像データは全て消失されますので、あらかじめご了承の上、フォーマットを行ってください。必要に応じてデータをパソコンやCDにコピーしてからフォーマットしてください。)
- 電極部(金色の金属部分)が汚れてしまった場合は、乾いた清潔な布などで汚れを軽く拭き取ってください。



# ご使用の前に

## メモリのフォーマット

メモリをフォーマット(初期化)する機能です。



- ◆カメラにSDメモリカードが装着されている時は、SDメモリカードがフォーマットされます。  
SDメモリカードが装着されていない時は内蔵メモリがフォーマットされます。



- このカメラでSDメモリカードを使用する前には、必ずフォーマットを行ってください。
- フォーマットを行うとSDメモリカードに記録された全てのデータが消去され、初期化されますのでご注意ください。
- SDメモリカードのフォーマットは、必ず本製品のフォーマット機能で行ってください(パソコン上でフォーマットした場合、動作保証できません)。
- 保護設定を行ったファイルでも、フォーマットを実行すると消去されてしまいます。
- フォーマットする前に必要に応じてファイルをパソコンやCDにコピーしてください。
- SDメモリカードのライトプロテクトスイッチ(P.14参照)でロックしている場合、フォーマットは行われません。

1. 電源ボタンを押し、カメラの電源をオンにします。
2. モードボタンを2回押して、再生モードに設定し、メニューボタンを押します。
3. マルチ選択ボタンの右ボタンで「設定」メニューを選択します。
4. 上または下ボタンで「フォーマット」を選択し、シーン／OKボタンを押します。
5. 上または下ボタンで「実行」または「キャンセル」のいずれかを選択し、シーン／OKボタンを押し決定します。

キャンセル : フォーマットしません。

実行 : フォーマットします。

4.





# ご使用の前に

## 日付と時刻の設定

カメラを使い始める前に、日付と時刻の設定を行う必要があります。

1. 電源ボタンを押してカメラの電源をオンにします。
2. メニューボタンを押します。
3. マルチ選択ボタンの右ボタンを2回押して「設定」メニューを選択します。
4. 上または下ボタンを押して「日付／時刻」を選択し、シーン／OKボタンを押します。
5. 上または下ボタンを押して日付の表示順を選択し、シーン／OKボタンを押します。
6. 左または右ボタンを押して年／月／日／時／分の項目を移動し、上または下ボタンを押して数字を設定します。
7. シーン／OKボタンを押して決定します。
8. メニューボタンを押してメニュー画面を終了します。



◆時刻は24時間表示です。

## 言語の設定（初期設定：日本語）

液晶モニタに表示する言語を設定します。

1. 電源ボタンを押してカメラの電源をオンにします。
2. メニューボタンを押します。
3. マルチ選択ボタンの右ボタンを2回押して「設定」メニューを選択します。
4. 上または下ボタンを押して「言語(Language)」を選択し、シーン／OKボタンを押します。
5. 上または下ボタンを押して表示したい言語を選択し、シーン／OKボタンを押し決定します。
6. メニューボタンを押してメニュー画面を終了します。

4.





# 静止画モード

## 静止画の撮影

- 電源ボタンを押して、カメラの電源をオンにします。
- 静止画モードで起動します。
- 液晶モニタで被写体を捉えます。必要に応じてズームを使用して構図を決めます。
- シャッターボタンを半押ししてカメラをしっかり構えて、シャッターボタンを完全に押し込んで撮影します。  
ピント・露出が決定するとメインフォーカスフレームが緑色になります。  
ピント・露出が合わない場合はメインフォーカスフレームが黄色になります。



- ◆ (手ぶれ警告)が液晶モニタに表示された場合、フラッシュの使用あるいは三脚の使用をおすすめします。
- ◆シャッターボタンを軽く押すと、途中で少し止まるところがあります。  
ここまで押すことを半押しと呼びます。
- ◆半押し状態の時、カメラが自動的にピントを合わせます。

①半押し  
②撮影



## 顔検出機能

人の顔を検出し、自動的にピントを合わせます。最高5人の顔を検出することができます。

- 静止画モードにセットします。
- 顔検出／上ボタンを押し、液晶モニタに アイコンを表示します。
- ピントの中心となる顔は白いフレーム(メインフォーカスフレーム)、その他の顔は灰色のフレームで認識されます。
- シャッターボタンを半押しして、ピントを合わせます。  
ピントが合うとフレームが緑になります。フレームが赤くなった場合は、メインフォーカスフレームにピントが合っていません。
- シャッターボタンを完全に押し込んで撮影します。



- ◆以下の状況では、正しく検出することができません。
  - 眼鏡、サングラス、帽子などを付けている場合
  - 横を向いていたり、頭を傾けている場合。
- ◆すべての状況で顔検出機能の動作を保証するものではありません。

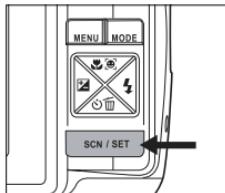


# 静止画モード

## ■ シーンモード(初期設定：プログラムAE)

シーンモードを使用して、撮影状況に合わせた設定を自動的に調整することができます。

- モードボタンを押して静止画モードにセットします。
- シーン／OKボタンを押します。
- 左または右ボタンを押してシーンモードを選択し、シーン／OKボタンを押します。  
変更をしない時は、シャッターボタンを半押ししてください。  
静止画撮影画面に戻ります。



P	自動	撮影状況に応じて、自動的に設定を行います。	※ TEXT	花火	きれいに花火を撮影することができます。シャッター速度が遅くなるため、三脚の使用をおすすめします。
	スマイルショット	シャッター半押し時、笑顔が検知されると自動的に撮影されます。		テキスト	印刷物などの白黒のはっきりした被写体の撮影に適しています。
	手ぶれ補正(電子式)	撮影する際、手ぶれの影響を最小限にします。		夕景	夕日の撮影に適しています。 深い色味を演出します。
	男性ポートレイト	人物(男性)に焦点を合わせ、 背景をぼかして撮影します。		朝日	朝日の撮影に適しています。 深い色味を演出します。
	女性ポートレイト	人物(女性)に焦点を合わせ、 背景をぼかして撮影します。		水しぶき	水しぶきの上がる場所での撮影に適しています。
	風景	焦点範囲を無限に設定し、 風景をくっきりと鮮やかに撮影します。		流水	流水の撮影に適しています。
	スポーツ	動きの速い被写体の撮影に適しています。		雪	暗い被写体と青み掛からない明白な雪景色などの撮影に適しています。
	夜景ポートレイト	夕方または夜景背景で、 人物を撮影するのに適しています。		浜辺	明るい浜辺または日の当たる水面の撮影に適しています。
	夜景	夜景のような暗い場面の撮影に適しています。		ペット	ペットの撮影に適しています。ペットの目線で撮影してください。
	キャンドルライト	ロウソクの明かりの中での撮影時に選択すると、 雰囲気のある写真を撮影することができます。		ユーザー設定	この機能は使用できません。



# 静止画モード



## ▣ ズーム撮影

カメラには3倍光学ズームと4倍デジタルズームが搭載されています。

光学ズームとデジタルズームとの組み合わせで、最大12倍のズーム撮影ができます。

1. ズームインボタン $\blacktriangleleft$ で拡大、ズームアウトボタン $\blacktriangleright\blacktriangleright\blacktriangleright$ で縮小します。
  2. デジタルズーム(Dズーム)
    - a. メニューボタンを押します。
    - b. 右ボタンを押して「機能」メニューを選択します。
    - c. 上または下ボタンを押して「Dズーム」を選択し、OKボタンを押します。
    - d. 再度上または下ボタンを押して「オン」を選択し、OKボタンを押し決定します。
    - e. メニューボタンを押してメニュー画面を終了します。
    - f. ズームインボタンを押して光学3倍まで拡大します。
- 一度ズームインボタンから指を外し、再度ズームインボタンを押すと、デジタルズームされます。



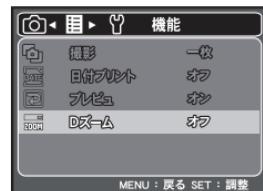
- ◆動画モードでは、電子ズームを使用できません。動画撮影中は、光学ズームを使用できません。
- ◆電子ズームの倍率が大きくなると、撮影した画像の解像度は低下します。
- ◆カメラの電源がオフになると、電子ズーム倍率は自動的にリセットされます。
- ◆デジタルズームの初期設定は「オフ」です。



光学ズーム(1倍～3倍)

デジタルズーム(1～4倍)

C.



MENU : 戻る SET : 調整



# 静止画モード

## 露出補正／逆光補正

撮影時に全体的な明暗を調整します。

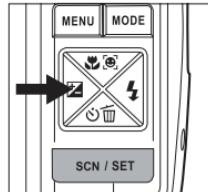
被写体と背景との明度の差が大きく、適切な明るさ(露出)を得ることができない場合、または撮影したい被写体が非常に小さい場合、この設定を使用してください。

1. 露出補正ボタン / 左ボタンを押します。



◆露出補正／逆光補正ボタン を押すごとに、液晶モニタの表示が変わります。

[表示無し] → [ ]逆光補正 → [ ]露出補正



2. 露出補正を選択時、上または下ボタンで露出値を調整し、露出補正ボタン を押して決定します。



◆露出値 : -2.0 ~ +2.0EV(0.3EV単位)

◆露出値は液晶モニタに表示されます。

## 撮影状況別設定例

### 〈高露出値(+)推奨〉

- ・白い紙に黒い文字の印刷物
- ・逆光時
- ・雪面や空が被写体の大部分を占める場合

### 〈低露出値(-)推奨〉

- ・暗い背景の中にスポットライトが当たっている場合
- ・黒い紙に白い文字の印刷物
- ・反射の弱い被写体(常緑樹や薄暗い葉など)

### 〈逆光補正(+1.3EV固定)推奨〉

- ・背景が明るく、被写体が暗い場合
- ・被写体の後ろから強い光(太陽など)が当たっている場合



# 静止画モード



## ■ 撮影距離

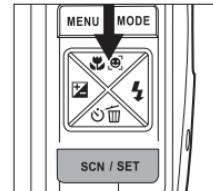
カメラは通常、オートフォーカスを使用して自動で焦点を合わせます。

また、オートフォーカスとは別に撮影状況に合わせて撮影距離を設定することができます。

マクロ／上ボタン を押して、フォーカスマードを切り替えます。

フォーカスマードが切り替わるたびに、液晶モニタのアイコン表示が変わります。

表示無し	オートフォーカス	被写体に合わせてカメラが自動的に焦点を合わせます。 このモードで撮影する場合は、被写体から50cm以上離れてください。
	マクロ(近接)	被写体を至近距離から撮影する場合におすすめします。 撮影範囲：広角 10cm以上／望遠(3倍) 35cm以上
$\infty$	無限	遠くの被写体を撮影するときにおすすめします。



◆フォーカスボタン を押すごとに、液晶モニタの表示が変わります。

[表示無し] オートフォーカス → → [ ] マクロ(近接) → [  $\infty$  ] 無限



◆カメラの電源がオフになってしまっても、フォーカスマードの設定はリセットされません。

◆顔検出機能 はP.17をご覧下さい。



# 静止画モード

## セルフタイマー

セルフタイマーを設定することができます。

セルフタイマー／下ボタンを押して、セルフタイマーを切り替えます。

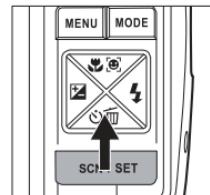


◆セルフタイマーボタンを押すごとに、液晶モニタの表示が変わります。

〈静止画モード〉



〈動画モード〉



- ファインダーまたは液晶モニタで、被写体を捉えます。
- シャッターを半押しして焦点と露出を決定した後、シャッターを完全に押し込みます。
- 設定した秒数(液晶モニタに表示されます)が経過した後、シャッターが切られて撮影されます。  
動画の場合は、設定した秒数が経過後から撮影が開始されます。再度シャッターを押すと終了します。

10s	10秒	シャッターを押してから約10秒後にシャッターが切れられます。
2s	2秒	シャッターを押してから約2秒後にシャッターが切れられます。露出時間の長い撮影時に、ブレを防ぐためにこのモードを使うと有効です(三脚の使用をおすすめします)。
10+2s	10秒+2秒	シャッターを押してから約10秒後にシャッターが切れられます。 その2秒後にもう一度シャッターが切れられます。



◆セルフタイマーは設定後の1回のみ適用されます。

◆セルフタイマー動作中は赤色LEDが点滅します。



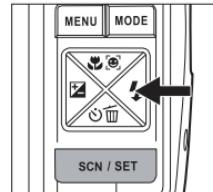
# 静止画モード

## ■ フラッシュ撮影

フラッシュを設定します。フラッシュは撮影状況に応じて設定することができます。

フラッシュ / 右ボタンを押して、フラッシュモードを切り替えます。

	自動発光	周辺の光量が不足している場合、自動的にフラッシュが発光します。
	赤目軽減機能付き発光	暗い場所などで撮影時に被写体の目が赤くなるのを最小限に抑えます。 明るい場所では発光しません。
	強制発光	どんな状況でもフラッシュが発光します。逆光や蛍光灯の下などでの撮影時におすすめします。
	発光禁止	どんな状況でもフラッシュが発光しません。屋内の照明が強い舞台や室内競技の撮影や、被写体がフラッシュ範囲より離れている場合、動物園など発光が禁されている場所などにおすすめします。



- ◆フラッシュの有効範囲は、約0.5m～2.4m(W)、約0.5m～2.1m(T)です。
- ◆動画モード 適用時、フラッシュは使用できません。
- ◆セルフタイマーで「10+2s」を選択した場合、2枚目は光量が不足する事があります。





# 動画モード

## ■ 動画の撮影

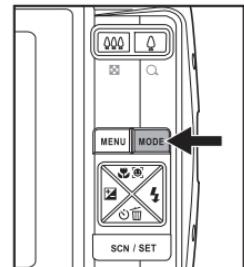
320×240または640×480サイズで、動画を撮影することができます。

動画に音声を記録することもできます。

1. モードボタンを押して動画モード にセットします。
2. 液晶モニタで被写体を捉え、撮影する構図を決めます。
3. シャッターボタンを押すと撮影を開始します。再度シャッターボタンを押すと撮影を終了し、動画を保存します。



- ◆撮影可能時間は、保存するメモリ残量と撮影する被写体によって変わります。
- ◆動画モードでは、フラッシュは使用できません。
- ◆動画撮影中はズームできません。





# 再生モード ▶

## ▣ 静止画の再生

液晶モニタで静止画を再生します。

1. モードボタンを押して、再生モードにセットします。

最後に保存した静止画または動画が液晶モニタに表示されます。

2. 左または右ボタンで前または後の画像に移動することができます。

また、ズームボタンを押して静止画の拡大・縮小表示することができます。

ズームインボタン ♣ で拡大、ズームアウトボタン ■■ で縮小します。

ズームインした状態で上／下／左／右ボタンを使用して表示範囲を移動することができます。



◆動画は、 のアイコンが表示されます。



## ▣ サムネイル表示

再生モードでは、1枚表示の他に9分割のサムネイル表示に切り替えることができます。

画像を一度に9枚ずつ見られるため、見たい画像を素早く探すことができます。

1. モードボタンを押して、再生モードにセットします。

最後に保存した静止画または動画が液晶モニタに表示されます。

2. ズームアウトボタン ■■ を押すと、サムネイル表示に切り替わります。

上／下／左／右ボタンを押して黄色のフレームを移動し、画像を選択します。

10枚以上の画像が保存されている場合、上または下ボタンで画面をスクロールします。

3. シーン／OKボタンを押すと、選択した画像(黄色のフレーム)が1枚表示に切り替わります。



◆サムネイル表示では、、、 アイコンはそれぞれ小さく表示されます。

◆動画は最初のシーンが静止した状態で表示されます。



# 再生モード ▶

## ▶ 動画の再生

液晶モニタで動画を再生します。

1. モードボタンを押して、再生モードにセットします。

最後に保存した静止画または動画が液晶モニタに表示されます。

2. 左または右ボタンを押して動画を選択します。

3. シーン／OKボタンを押すと、再生を開始します。

再生中に巻き戻し／早送りを行う場合は左または右ボタンを押します。

シーン／OKボタンを押すと再生を一時停止し、再度シーン／OKボタンを押すと再生を再開します。

下ボタンを押すと再生を停止し、動画の最初に戻ります。



◆動画の回転、拡大表示はできません。

◆本製品はスピーカーを内蔵していないため、音声は再生されません。

動画に記録された音声を聞くには、動画をパソコンに取り込み、付属CD-ROMからMediaOne GalleryまたはQuick Time Player等を使用して視聴してください。

## ▶ 削除

画像の削除をします。

1. モードボタンを押して、再生モードにセットします。

最後に保存した静止画または動画が液晶モニタに表示されます。

2. 左または右ボタンを押して動画を選択します。

3. セルフタイマー/下ボタンを押します。

上または下ボタンを押して「一枚」または「すべて」を選択し、OKボタンを押します。

一枚 : 選択(表示)されたファイルを削除します。

すべて : すべてのファイルを削除します。

削除の確認画面が表示されます。上または下ボタンで「キャンセル」または「実行」を選択し、シーン/OKボタンを押して決定します。

キャンセル:ファイルを削除しません。

実行 : ファイルを削除します。



◆ 保護されたファイルは削除できません。  
削除する場合は、保護を解除してください。

◆ ファイルを削除しても、他のファイル番号が  
変更されることはありません。

◆ 削除しますと元に戻すことはできませんので  
ご注意ください。



# 詳細機能設定 静止画メニュー

## ▣ 静止画メニュー

3.

静止画モードの基本設定を行います。カメラの電源がオフになんでも設定は解除されません。

1. モードボタンを押して静止画モードにセットします。
2. メニューボタンを押し、左または右ボタンを押して「撮影」メニューを選択します。
3. 上または下ボタンを押して項目を選択し、シーン／OKボタンを押して各設定画面を表示します。
4. 上または下ボタンを押して設定・数値等を選択し、シーン／OKボタンを押し決定します。
5. メニューボタンを押してメニュー画面を終了します。

---

### ▣ 静止画サイズ (初期設定 : 8m)

撮影する静止画サイズを設定します。 下記項目から選択してください。

- [ **8m** ] 8M : 約800万画素
- [ **6m** ] 6M : 約600万画素
- [ **4m** ] 4M : 約400万画素
- [ **2m** ] 2M : 約200万画素
- [ **0.3m** ] 0.3M : 約30万画素



◆画素数が多いほど高画質ですが、容量も大きくなります。



# 詳細機能設定 静止画メニュー

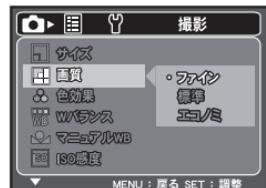
## ☒ 画質 (初期設定 : ファイン)

撮影する静止画の画質(圧縮率)を設定します。 下記項目から選択してください。

- [  ] ファイン
- [  ] 標準
- [  ] エコノミ



◆高画質なほど鮮明な画像となりますが、容量も大きくなります。



## ☒ 色効果 (初期設定 : 標準)

撮影する静止画のカラーモードを設定します。設定できる項目は以下の通りです。 下記項目から選択してください。

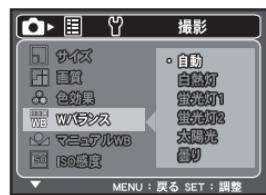
- 標準 : 色効果を加えません。
- ビビット : 色味をはっきりと強調します。
- セピア : セピア画像にします。
- 黑白 : 白黒画像にします。



## ☒ ホワイトバランス(Wバランス) (初期設定 : オート)

静止画の撮影時、被写体周辺の状況に応じてホワイトバランスを設定し、肉眼の色調に近付けます。 下記項目から選択してください。

- [ 表示なし ] 自動 : 自動で調整します。
- [ ] 白熱灯 : 室内の白熱灯下での撮影に適しています。
- [ ] 蛍光灯1 : 薄い赤味の蛍光灯下での撮影に適しています。
- [ ] 蛍光灯2 : 薄い青味の蛍光灯下での撮影に適しています。
- [ ] 太陽光 : 屋外の晴天時の撮影に適しています。
- [ ] 曇り : 屋外の曇天や木陰の撮影に適しています。
- [ ] マニュアル : 特殊な撮影条件に対応したホワイトバランスを設定します。





# 詳細機能設定 静止画メニュー

## ■ マニュアルWB

カメラのホワイトバランス設定では色の再現が困難な特殊な撮影状況の場合、マニュアルWB設定を利用すると、その撮影条件に適したホワイトバランスを得ることができます。

1. ホワイトバランスをマニュアルに設定します。
2. マニュアルWBを選択し、シーン／OKボタンを押します。
3. 上または下ボタンで実行を選択し、できるだけ灰色に近い単色を液晶モニタで捉えシーン／OKボタンを押し、マニュアルWBを設定します。



- ◆より正確なホワイトバランスをお望みのお客様に(株)ケンコーでは「18%グレー標準反射板32cm角スクエア」を用意しています。カメラ量販・専門店でお求めください。
- ◆薄い灰色のハンカチ等を用意しておくのも方法のひとつです。

2.



3.



## ■ ISO感度（初期設定：自動）

撮影時の感度を設定します。感度を上げると暗い場所での撮影も可能になりますが、ノイズが増え、画質が低下します。ノイズが気になる場合は、ISO感度をなるべく低く設定してください。下記項目から選択してください。

自動 / 64 / 100 / 200 / 400 / 800



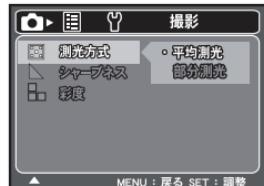


# 詳細機能設定 静止画メニュー

## 测光方式 (初期設定：平均测光)

静止画撮影時の露出計測方法を選択します。下記項目から選択してください。

- [  ] 平均测光：画面全体の明るさから平均値を計測します。特に被写体の中央の明るさを重視します。
- [  ] 部分测光：画面内の一点を基準にして露出を計測します。



## シャープネス (初期設定：標準)

撮影する静止画の鮮銳度を設定します。

下記項目から選択してください。

- ハード：シャープな静止画に仕上がります
- 標準：効果を加えません
- ソフト：ソフトな静止画に仕上がります



## 彩度 (初期設定：標準)

撮影する静止画の彩度(色の濃さ)を設定します。

下記項目から選択してください。

- 高：彩度を高めた画像にします。
- 標準：効果を加えません。
- 低：彩度を抑えた画像にします。



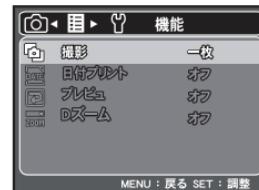


# 詳細機能設定 静止画機能メニュー

## ▣ 静止画機能メニュー

静止画モードの基本設定を行います。カメラの電源がオフになっても設定は解除されません。

1. モードボタンを押して静止画モードにセットします。
2. メニューボタンを押し、右ボタンを押して静止画「機能」メニューを選択します。
3. 上または下ボタンを押して項目を選択し、シーン／OKボタンを押して各設定画面を表示します。
4. 上または下ボタンを押して設定・数値等を選択し、シーン／OKボタンを押し、決定します。
5. メニューボタンを押してメニュー画面を終了します。

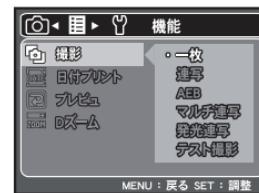


## ▣ 撮影 (初期設定：一枚)

静止画撮影時の撮影方法を設定します。

下記項目から選択してください。

- [] 一枚 : 1枚撮影します。
- [] 連写(3枚) : 約1秒間隔で、3枚の連写撮影ができます。
- [] AEB : 約1秒間隔で、露出値を自動的に変えながら撮影します。  
撮影したあとに最適な露出の画像を選ぶことができます。
- [] マルチ連写 : シャッターボタンを押し続けると、連写撮影します。
- [] 発光連写 : フラッシュを発光しながら、3枚の連写撮影ができます。
- [] テスト撮影 : 始めにテストとして撮影し、次にテストで撮影した静止画を基準(薄く再生)にしながら撮影します。
- [] 2分割撮影 : 1回目は左半分を撮影し、2回目に右半分を撮影して、合成写真が楽しめます。





# 詳細機能設定 静止画機能メニュー

## ☒ 日付プリント (初期設定: オフ)

撮影した日付を静止画にプリントすることができます。

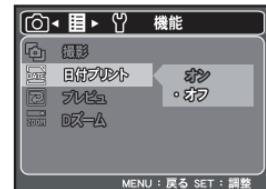
オン : 日付プリントを設定します。

オフ : 日付プリントを設定しません。



◆この設定は撮影前に行ってください。

◆設定をオンにする場合、日付／時刻が合っているかで確認ください。

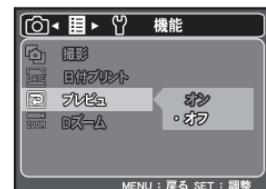


## ☒ プレビュー (初期設定: オフ)

静止画を撮影した直後、撮影した静止画を液晶モニタに表示します。

オン : 表示します。

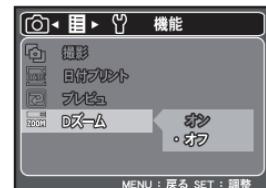
オフ : 表示しません。



## ☒ デジタルズーム(ロズーム) (初期設定: オフ)

デジタルズームのオン／オフを切り替えます。

P.19をご覧ください。





# 詳細機能設定 動画メニュー

## 動画メニュー

動画モードの基本設定を行います。この設定は、カメラの電源がオフになっても削除されません。

1. モードボタンを押して動画モード にセットします。
2. メニューボタンを押して「動画」 メニューを表示します。
3. 上または下ボタンを押して設定を選択し、シーン／OKボタンを押して各設定画面を表示します。
4. 上または下ボタンを押して項目を選択し、シーン／OKボタンを押します。
5. メニューボタンを押してメニュー画面を終了します。



### 動画サイズ (初期設定：640×480)

撮影する動画サイズを設定します。設定できる項目は以下の通りです。

640 × 480(VGA)

320 × 240(QVGA)



◆ サイズが大きいほど高画質ですが、容量も大きくなります。



### 色効果 (初期設定：標準)

撮影する動画のカラー モードを設定します。

P.28をご覧ください。





# 詳細機能設定 再生メニュー

## 再生メニュー

再生モードの基本設定を行います。

1. モードボタンを押して、再生モードにセットします。
2. メニューボタンを押して、「再生」メニューを表示します。
3. 上または下ボタンを押して項目を選択し、シーン／OKボタンを押して各設定画面を表示します。
4. 上または下ボタンを押して設定・数値等を選択し、シーン／OKボタンを押し決定します。
5. メニューボタンを押してメニュー画面を終了します。

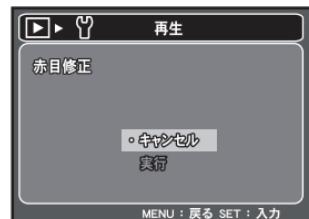


## 赤目修正

撮影した静止画の赤目を軽減することができます。 下記の項目から選択してください。

キャンセル：赤目修正をしません。

実行 : 赤目修正をします。





# 詳細機能設定 再生メニュー

## ☒ スライドショ

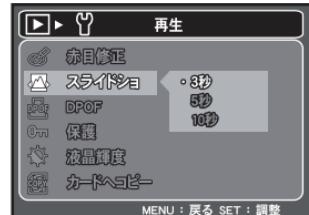
一定の間隔で、メモリに記録されている全ての画像を表示します。動画は最初のシーンが静止した状態で表示されます。  
表示間隔を設定します。

3秒：3秒間隔で表示されます。

5秒：5秒間隔で表示されます。

10秒：10秒間隔で表示されます。

1. 表示間隔を選択し、シーン／OKボタンを押すと、スライドショが開始されます。
2. シーン／OKボタンを再度押すと、スライドショを終了します。



## ☒ DPOF

### (DPOFとは)

DPOF（デジタル・プリント・オーダー・フォーマット）は、DPOFをサポートするプリンタを使い、SDメモリカードに保存されている静止画を直接プリントアウトしたり、写真店にプリントサービスを依頼する場合に手間を省くことができます。

1. 上または下ボタンでDPOFを選択し、シーン／OKボタンを押します。
2. 上または下ボタンで「一枚」または「すべて」を選択し、シーン／OKボタンを押します。

「一枚」：静止画を一枚ずつプリント指定します。

「すべて」：全ての静止画をまとめてプリント指定します。



●次ページへ続く

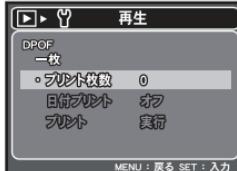


# 詳細機能設定 再生メニュー

## 〈一枚を選択する場合〉

- A-1. あらかじめ左または右ボタンでプリントする画像を選択します。
- A-2. メニューボタンを押します。
- A-3. 上または下ボタンで「DPOF」を選択し、シーン／OKボタンを押します。
- A-4. 上または下ボタンで「一枚」を選択し、シーン／OKボタンを押します。
- A-5. 上または下ボタンで「プリント枚数」を選択し、シーン／OKボタンを押します。
- A-6. 上または下ボタンでプリント枚数を設定し、シーン／OKボタンを押します。  
最大9枚まで指定できます。
- A-7. 上または下ボタンで「日付プリント」を選択し、シーン／OKボタンを押します。  
上または下ボタンで「オフ」または「オン」を選択し、シーン／OKボタンを押します。  
「オフ」：日付プリントしません。  
「オン」：日付プリントします。
- A-8. 上または下ボタンで「プリント」を選択し、シーン／OKボタンを押します。  
「キャンセル」：DPOF設定をしません。  
「実行」：DPOF設定をします。
- DPOF設定した画像には凸プリントアイコンと枚数が表示されます。  
設定完了後に設定を解除する場合は、プリント枚数を0枚に設定して実行してください。
- A-9. 他の画像も設定する場合は、左または右ボタンで画像を選択し、A-3から設定を続けてください。

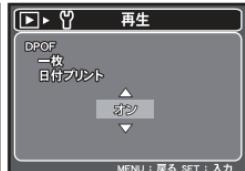
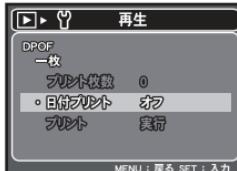
A-5.



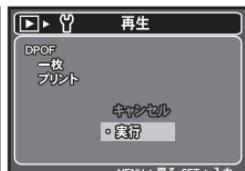
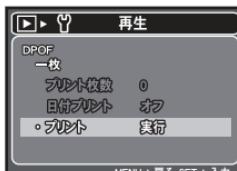
A-6.



A-7.



A-8.



●次ページへ続く



# 詳細機能設定 再生メニュー

〈すべてを選択した場合〉

B-1. 上または下ボタンで「プリント枚数」を選択し、シーン／OKボタンを押します。

B-2. 上または下ボタンでプリント枚数を設定し、シーン／OKボタンを押します。

B-3. 上または下ボタンで「日付プリント」を選択し、シーン／OKボタンを押します。

上または下ボタンで「オフ」または「オン」を選択し、シーン／OKボタンを押します。

「オフ」：日付プリントしません。

「オン」：日付プリントします。

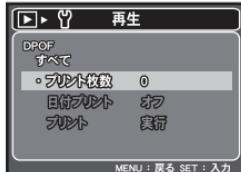
B-4. 上または下ボタンで「プリント」を選択し、シーン／OKボタンを押します。

B-5. 上または下ボタンで「キャンセル」または「実行」を選択し、シーン／OKボタンを押します。

設定完了後に設定を解除する場合は、プリント枚数を0枚に設定して実行してください。



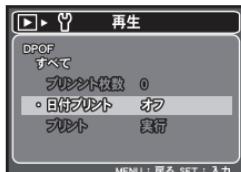
B-1.



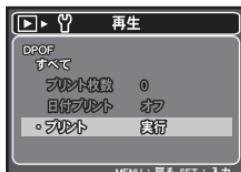
B-2.



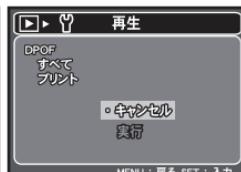
B-3.



B-4.



B-5.





# 詳細機能設定 再生メニュー

## 保護

撮影した静止画および動画の誤消去を防ぐために保護をします。

1. 上または下ボタンを押して「保護」を選択し、シーン／OKボタンを押します。
2. 上または下ボタンを押して「一枚」、「すべて」、「選択」のいずれかを選択し、シーン／OKボタンを押します。

一枚：一枚の静止画または動画を保護します。

すべて：全ての静止画・動画を保護します。

選択：撮影された静止画・動画を9画面サムネイル表示から選択して保護します。

### 〈一枚を選択する場合〉

- A-1. あらかじめ保護する画像を選択してから、メニュー ボタンを押し、

上記1.と2.「一枚」を選択し、シーン／OKボタンを押します。

- A-2. 上または下ボタンで「設定」、「保護解除」、「戻る」のいずれかを選択し、シーン／OKボタンを押します。

設定：保護します。

保護解除：保護を解除します。

戻る：保護しません。

- A-3. 設定を選択し、シーン／OKボタンを押すと表示されていた画像が保護され、アイコンが表示されます。

### 〈すべてを選択した場合〉

- B-1. 上または下ボタンで「設定」、「保護解除」、「戻る」のいずれかを選択し、シーン／OKボタンを押します。

設定：全ての画像を保護します。

保護解除：保護を解除します。

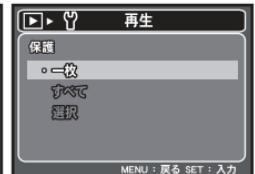
戻る：保護しません。

- B-2. 設定を選択し、シーン／OKボタンを押すと全ての画像が保護されます。全ての画像にアイコンが表示されます。

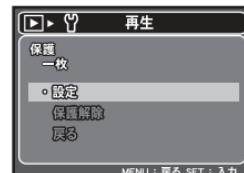
1.



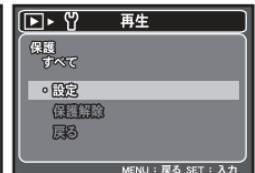
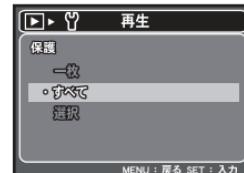
2.



A-2.



B-1.



●次ページへ続く



# 詳細機能設定 再生メニュー

## 〈選択を選択した場合〉

- C-1. 9画面のサムネイル表示されます。
- C-2. 左または右ボタンで黄色のフレームを移動し、保護する画像を選択します。
- C-3. 下ボタンを押すと保護され、アイコンが表示されます。  
再度下ボタンを押すと保護が解除されます。
- C-4. 左または右ボタンで保護する他の画像を選択します。
- C-5. 保護設定を終了する時は、メニューボタンを押すと再生画面に戻ります。



## 液晶輝度 (初期設定: 0)

液晶モニタの明るさを調節します。明るくすると屋外でも見えやすくなりますが、電池の消耗が早くなります。

1. 上または下ボタンで「液晶輝度」を選択し、シーン／OKボタンを押します。
2. 上または下ボタンで5～-5を選択し、シーン／OKボタンを押して決定します。

5 明るくします  
0 標準  
-5 暗くします



## カードへコピー

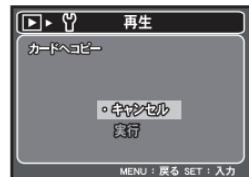
内蔵メモリからSDメモリカードへファイルをコピーすることができます。

1. 上または下ボタンで「カードへコピー」を選択し、シーン／OKボタンを押します。
2. 上または下ボタンで「キャンセル」または「実行」を選択し、シーン／OKボタンを押します。

キャンセル：カードにコピーしません。  
実行 : カードにコピーします。



◆すべての内蔵メモリの画像がSDメモリカードにコピーされます。  
この操作を行う前に、あらかじめSDメモリカードをカメラに装着しておく必要があります。





# 詳細機能設定 基本設定メニュー

## ▣ 基本設定メニュー

カメラの基本設定を行います。

1. メニューボタンを押します。
2. 右ボタンを2回押して「設定 」を選択します。
3. 上または下ボタンを押して項目を選択し、シーン／OKボタンを押して各設定画面を表示します。
4. 上または下ボタンを押して設定または数値等を選択し、シーン／OKボタンを押します。
5. メニューボタンを押してメニュー画面を終了します。

設定メニューは、静止画モード 、動画モード 、再生モード のいずれからも表示することができます。





# 詳細機能設定 基本設定メニュー

## ☒ ピープ音 (初期設定: オン)

カメラの操作音のオン／オフを切り替えます。

オン : 操作音をオンします。

オフ : 操作音をオフにします。



◆オフに設定すると、シャッター音もオフになります。

## ☒ 日付／時刻

カメラの日付と時刻を合わせます。

詳細はP.16「日付／時間」をご覧ください。

## ☒ 表示言語

液晶モニタに表示する言語を選びます。

詳細はP.16「言語の設定」をご覧ください。

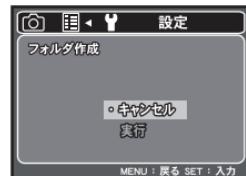
## ☒ フォルダ作成(フォルダ番号リセット)

SDメモリカード内に新しいフォルダを作成します。

設定後に、撮影した画像のファイル名は新たに「0001」から始まります。

キャンセル : 新しいフォルダを作成しません。

実行 : 新しいフォルダを作成します。





# 詳細機能設定 基本設定メニュー

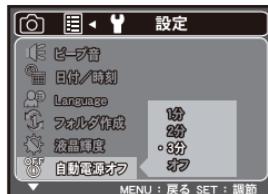
## 液晶輝度

詳細はP.39「液晶輝度」をご覧ください。

## 自動電源オフ (初期設定: 3分)

電力節約のため、カメラを操作しない時間が一定時間続くと、カメラの電源を自動的にオフにします。

- 1分 : 1分間カメラを操作しないと電源をオフします。
- 2分 : 2分間カメラを操作しないと電源をオフします。
- 3分 : 3分間カメラを操作しないと電源をオフします。
- オフ : 自動的に電源をオフしません。



## 電源周波数 (初期設定: 50Hz)

撮影の地域によって正しい電源周波数を選択し、蛍光灯のチラツキを抑制します。

- 50Hz : 電源周波数を50Hzに設定します。
- 60Hz : 電源周波数を60Hzに設定します。



◆日本では50Hzと60Hzの交流電源が使われています。  
静岡県の富士川から新潟県の糸魚川あたりを境に東側が50Hz、西側が60Hzです。





# 詳細機能設定 基本設定メニュー

## 初期設定

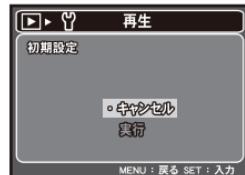
カメラの各種設定を工場出荷状態にもどします。

キャンセル：出荷状態に戻しません。

実行：出荷状態に戻します。



- ◆日付／時刻、言語はリセットされません。
- ◆静止画モードまたは動画モード時のみ設定できます。



## フォーマット

SDメモリカードに記録された全てのデータが消去され、初期化されます。  
詳細はP.15をご覧ください。



- ◆再生モードからメニュー ボタンを押した場合のみ設定できます。

## カード情報

SDメモリカードまたは内蔵メモリの残量を表示します。



- ◆メモリ残量は目安です。実際には異なる場合があります。
- ◆再生モードからメニュー ボタンを押した場合のみ設定できます。

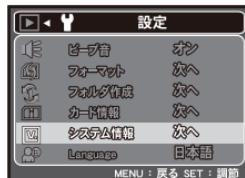


## システム情報

カメラのバージョン情報を表示します。



- ◆再生モードからメニュー ボタンを押した場合のみ設定できます。





# PCカメラとして使用する

MediaOne Galleryを起動してデバイスをクリックしてPCカメラとして使用することもできます。

本製品はPCカメラとして、テレビ会議をしたり、友人や家族とリアルタイムで会話をすることができます。

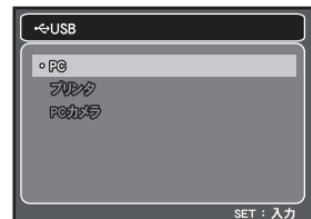
カメラをPCと接続する前に、PC-CAMドライバをパソコンにインストールしてください。PCカメラとして使うには、以下のアイテムが必要です。

- マイク
- サウンドカード
- スピーカーまたはヘッドホン
- ネットワークまたはインターネット接続

## ④ PCカメラドライバのインストール

専用PCカメラドライバのインストール前に、カメラとPCは接続しないでください。

1. 付属のCD-ROMをパソコンのCD-ROMドライブにセットします。
2. インストール画面から「PC CAM DRIVERのインストール」をクリックします。
3. 画面の指示に従いインストールを続けます。
4. インストールが完了したら、パソコンを再起動します。
5. カメラとパソコンの電源をオンします。
6. 付属のUSB-PC接続ケーブルでカメラとパソコンを接続します。
7. カメラの液晶モニタにUSBモードが表示されます。  
上または下ボタンで「PCカメラ」を選択し、シーン／OKボタンを押します。  
カメラの液晶モニタは自動的にオフになります。
8. 初回のみ「新しいハードウェアが見つかりました」と表示され、しばらくすると「新しいハードウェアインストールされ使用準備ができました」と表示され使用できるようになります。
9. パソコンの「スター」→「マイコンピュータ」をクリックして開きます。  
「USBビデオ デバイス」をダブルクリックします。  
画像がパソコンモニタに表示され、PCカメラとして使用できます。
10. 終了する場合は、各OSに適した安全な方法でUSBケーブルを外してください。



◆PCカメラ機能は、Windowsのみ使用可能です。Macintoshでは使用できません。

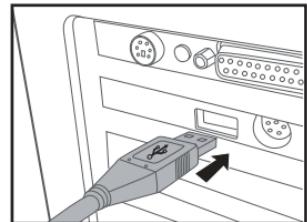
◆PCカメラの機能はサポート対象外となります。あらかじめご了承ください。



# パソコンとの接続

## パソコンへ接続する

- パソコンの電源を入れてUSB-PC接続ケーブルを接続します。
- カメラのUSB-PC接続端子に、付属のUSB-PC接続ケーブルを接続します。
- 電源ボタンを押して、カメラの電源をオンにします。
- USBモードが表示されます。上または下ボタンを押して「PC」を選択し、設定ボタンを押します。  
自動的にカメラの液晶モニタはオフになります。
- デスクトップから[マイコンピュータ]をダブルクリックします。[リムーバブルディスク]※というドライブが表示されます。  
※お使いのパソコン環境により、名称が異なる場合があります。
- [リムーバブルディスク]→[DCIM]→[100DSCIM]フォルダの順にダブルクリックしてフォルダを開いてください。  
記録した全ての静止画と動画は、この[DCIM]内に保存されています。



## Macintoshの場合

デスクトップ上の[リムーバブルディスク]のアイコンをダブルクリックします。  
iPhotoがインストールされている場合は、自動的に画像を読み込む場合があります。



◆パソコンへのデータ転送中にカメラの電源を切らないでください。撮影した画像データが破損する恐れがあります。

## 転送時のご注意

画像をパソコンに取り込む際には、以下の注意事項を必ず守ってください。



- [リムーバブルディスク]からコピーしている際(画像取り込み時)は、USB-PC接続ケーブル、SDメモリカードを絶対に抜かないでください。  
内蔵メモリ、SDメモリカードが破損する恐れがあります。
- [リムーバブルディスク]内にあるフォルダ及びファイルの名前を変更しないでください。
- [リムーバブルディスク]内にパソコンからデータなどをコピーしないでください。カメラの動作が不安定になる原因になります。
- [リムーバブルディスク]をパソコンでフォーマットしないでください。
- [DCIM] フォルダ内にあるファイルデータは、カメラ内に保存されているファイルデータを表示しています。  
このフォルダにあるデータを削除してしまうと、カメラ内の画像が消去されてしまいますのでご注意ください。



# 付属アプリケーション

## □ 付属アプリケーションのインストール

### ☒ MEDIAONE GALLERYをインストールする

MEDIAONE GALLERYは、デジタルメディアを効率的に転送・閲覧・修正・配信することができ、デジタルカメラ・ビデオカメラ・スキャナを使う際に、大変便利なツールです。様々なデジタル機器から写真・動画・音声を取り込んで、簡単に閲覧・編集することができます。また、メール・プリント・スライドショーなどを利用して、メディアを配信することも可能です。

#### 〈インストール方法〉

1. 付属のCD-ROMをパソコンのCD-ROMドライブにセットしてください。自動的に画面が表示されます。
2. 「MEDIAONE GALLERYのインストール」をクリックします。
3. 「Inter Video MediaOne Galleryのセットアップへようこそ」が表示されます。  
「次へ」をクリックします。
4. 使用許諾契約に同意し、「はい」をクリックします。
5. 「ジョイント Inter Video 情報サービスプログラム」が表示されます。  
「はい」または「いいえ」を選択して「次へ」をクリックします。

2.



3.



4.



5.



●次ページへ続く



# 付属アプリケーション

6. 「インストール先の選択」が表示されます。インストール先を指定して「次へ」をクリックします。
7. 「メディアライブラリを保存する一時フォルダを選択して下さい」が表示されます。  
インストール先を指定して「次へ」をクリックします。
8. 「プログラム フォルダの選択」が表示されます。指定して「次へ」をクリックします。インストールが開始します。
9. 「サードパーティアプリケーションのセットアップ」が表示されます。  
お使いのパソコンにQuick Time Playerがインストールされていない場合はクリックし、「次へ」をクリックします。※画面の指示に従ってインストールを続けます。
10. 「セットアップが完了」が表示されます。  
「完了」をクリックしてパソコンを再起動し、ソフトウェアを有効にします。



## ◆インストール後

デスクトップに Inter Video MediaOne Gallery のアイコンが表示されます。クリックして起動します。

使用方法はソフトウェアのヘルプをご覧ください。



# プリンタとの接続

## □ ダイレクトプリント(PictBridge対応プリンタのみ対応)

カメラをPictBridge対応プリンタに接続して、静止画をカメラから直接プリントすることができます。  
動画はプリントできません。

1. プリンタの電源を入れてUSB-PC接続ケーブルを接続します。
2. カメラのUSB-PC接続端子に、付属のUSB-PC接続ケーブルを接続します。
3. カメラの電源を入れます。USBモードが表示されます。

4. 上または下ボタンを押して「プリンタ」を選択し、シーン／OKボタンを押します。

画像をプリントします。

カメラがPictBridge対応プリンタに接続されると、PictBridgeメニューがモニタに表示されます。

5. 上または下ボタンを押して「画像」を選択し、シーン／OKボタンを押します。
6. 上または下ボタンを押していずれかを選択し、シーン／OKボタンを押します。

一枚：画像を選択してプリントします。

すべて：保存されたすべての画像(静止画)をプリントします。

DPOF：DPOF設定でプリントします。

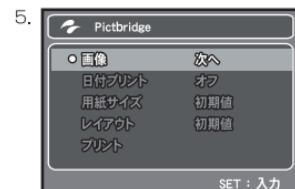
戻る：画像を選択設定を終了します。

### 〈一枚を選択した場合〉

- A-1. 左または右ボタンを押してプリントする画像を選択します。
- A-2. 上または下ボタンを押してプリント枚数を指定します。  
99枚まで指定できます。
- A-3. 他の画像もプリントする場合は、左または右ボタンを押して画像を選択します。
- A-4. 上または下ボタンを押してプリント枚数を指定します。
- A-5. プリントする画像と枚数設定を終了する場合は、シーン／OKボタンを押します。

### 〈すべてを選択した場合〉

- B-1. 上または下ボタンを押してプリント枚数を指定します。
- B-2. シーン／OKボタンを押します。





# プリンタとの接続

〈DPOFを選択した場合〉

C-1. DPOF設定された画面表示に戻ります。

〈戻るを選択した場合〉

D-1. 画像選択設定を終了し、5の画面表示に戻ります。

7. 日付プリントを設定します。

上または下ボタンを押して「日付プリント」を選択し、シーン／OKボタンを押します。

8. 上または下ボタンを押して「オン」または「オフ」を選択し、シーン／OKボタンを押して決定します。

オン：日付プリントをします。

オフ：日付プリントをしません。

9. 用紙サイズを選択します。

上または下ボタンを押して「用紙サイズ」を選択し、シーン／OKボタンを押します。

初期値：プリンタに設定されたサイズです。

L：L版

2L：2L版

ポストカード：はがき

4x6：4インチ×6インチサイズ

A4：A4サイズ

10. プリントのレイアウトを選択します。

上または下ボタンを押して「レイアウト」を選択し、シーン／OKボタンを押します。

11. 下記項目から選択し、シーン／OKボタンを押して決定します。

初期値：プリンタに設定されたレイアウトです。

フチあり：フチ付プリント

フチあり2面：一枚に2画面プリント

フチあり4面：一枚に4画面プリント

インデックス：索引プリント

フチなし：フチ無しプリント

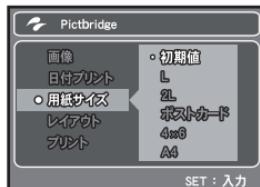
12. 上または下ボタンを押して「プリント」を選択し、シーン／OKボタンを押します。

プリントを開始します。

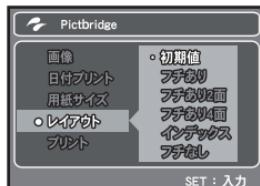
7.



9.



11.



12.



●次ページへ続く

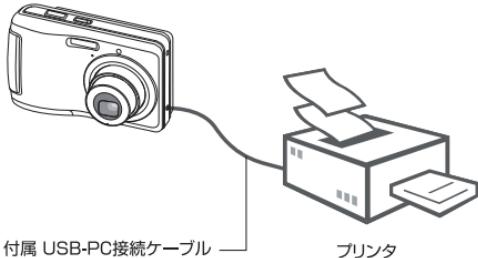


# プリンタとの接続

(P.49の続き)



- ◆プリント中にカメラの電源を切らないでください。正しくプリントされない場合があります。
- ◆プリント前にプリンタのインク残量を確認してください。  
インク残量が少ないと、プリントの途中でエラー表示が出てプリントが中断されることがあります。
- ◆お使いのプリンタにより表示・設定できる内容が異なります。詳しくはプリンタの取扱説明書をご覧ください。





# 記録可能枚数／時間の目安

## ▣ 静止画の記録可能枚数

静止画サイズ	画質	内蔵メモリ	SD／SDHCメモリカードの容量					
			128MB	256MB	512MB	1GB	2GB	4GB
8M (約800万画素)	■ フайн	3	36	72	146	293	587	1176
	■ 標準	4	48	98	197	395	791	1585
	■ エコノミー	5	58	118	238	473	957	1916
6M (約600万画素)	■ フайн	4	48	98	197	396	793	1588
	■ 標準	6	65	132	265	532	1066	2134
	■ エコノミー	7	72	146	293	588	1177	2357
4M (約400万画素)	■ フайн	9	86	174	350	702	1405	2814
	■ 標準	9	94	189	370	762	1527	3057
	■ エコノミー	11	111	224	450	902	1805	3614

## ▣ 動画の記録可能時間

動画サイズ	内蔵メモリ
640 × 480	17秒
320 × 240	1分08秒



◆撮影の状況・被写体によって記録されるファイルサイズが一定ではないため、記録可能枚数／時間に差が出ます。  
上記表は目安としてご参考ください。

◆内蔵メモリ16MBのうち画像の記録に使用できるのは12MBです。



# トラブルシューティング

「故障かな?」と思ったらもう一度確認、点検してください。

## ■ 電源

症状	原因	対処
電源が入らない。	電池が正しく入っていない。	電池を正確に入れてください。
	電池残量がない。	新しい電池に交換してください。
使用中に電源が切れる。	自動電源オフが作動している。	電源を入れてください。 自動電源オフの設定を確認してください。P.42をご覧ください。

## ■ 撮影

症状	原因	対処
シャッターボタンを押しても撮影できない。	シャッターボタンが完全に押し込まれていない。	シャッターボタンを完全に押し込んでください。
	SDメモリカードの残量がない。	新しいメモリカードを挿入するか、不要な画像を消去してください。
	フラッシュが充電中。	状態ランプが消えるまでお待ちください。
	SDメモリカードがライトプロテクトされている。	SDメモリカードのライトプロテクトスイッチを外してください。
オートフォーカスは作動するが、ピントが合わない。	レンズが汚れている。	柔らかく乾燥した布、またはレンズペーパーで拭いてください。
	カメラと被写体の距離が近すぎる。	P.21をご覧ください。

## ■ 再生

症状	原因	対処
ファイルを削除できない。	ファイルが保護されている。	保護を解除してください。
	SDメモリカードがライトプロテクトされている。	SDメモリカードのライトプロテクトスイッチを外してください。

## ■ コンピュータ／ソフトウェアのインストール

症状	原因	対処
画像をダウンロードすることができない。	パソコンの容量が足りていない。	ハードディスク容量が充分あるかどうか確認してください。
	電源が入っていない。	電源を入れてください。



# 仕様

## ▶ 製品仕様

イメージセンサー	1／2.5インチ CCD 総画素数 828万画素 有効画素数 約800万画素
画像サイズ	静止画：8M、6M、4M、2M、0.3M 動画：640×480(24fps)、320×240(30fps)
液晶モニタ	3.0インチ TFT 液晶モニタ
内蔵メモリ	16MBフラッシュメモリ
外部メモリ	SDメモリカード(32MB～2GB)／SDHCメモリカード(4GB)
ファイル形式	静止画：JPEG 動画：MJPEG(AVI)
レンズ	3倍光学ズームレンズ f=5.7～17.1mm F2.9／5.2 35mmフィルム換算：34～102mm相等
焦点距離	標準：約50cm～∞、マクロ(近接)：約10cm～∞(W)、約35cm～∞(T)
シャッター速度	2～1／1000秒
ISO感度	オート／64／100／200／400／800
デジタルズーム	静止画モード：4倍、静止画再生時：4倍
フラッシュ有効距離	約0.5m～2.4m(W)、約0.5m～2.1m(T)
入出力ポート	USB 2.0
電源	単3アルカリ乾電池(2本)
寸法(幅×高×奥行)	約97×62×30mm(突起部分除く)
重量	約132g(付属品、電池を除く)

## ■ 同梱品

カメラ本体、USB-PC接続ケーブル、ポーチ、単3アルカリ乾電池(2本)、ストラップ、CD-ROM、ミニ三脚、取扱説明書、クイックスタートガイド



# 仕様

## ▣ 必要システム

以下の条件を満たすパソコンが必要となります。

- 下記OSがプリインストールされたパソコン
- USBインターフェース(1.1以上)を標準装備したパソコン

	Windows対応OS	Macintosh
OS	Windows 2000(SP4) /XP(SP2)/Vista(32bit)	OS 9.0以降
CPU	Intel Pentium III 800 MHz 以上	Power PC G3/G4/G5
メモリ	256MB(512MB以上推奨)	256MB(512MB以上推奨)
ハードディスク	150MB以上の空き容量	128MB以上の空き容量
ドライブ	CD-ROM必須	CD-ROM必須
インターフェース	USB 1.1	USB 1.1

### 動作保証について

- 動作環境を満たすPC中でも、一部機種の設定、構成により正常に動作しない場合があります。あらかじめご了承ください。
- Windows 95/3.1、Windows NT、Windows 98、Windows 98SE、Windows MEでは動作いたしません。
- Macintosh OS 9.0以降では、動作いたしますがサポート対象外です。動作が不安定な場合は、SDメモリカードリーダーライタを使用してください。
- USBハブや拡張USBポートに接続した状態での使用、自作機および改造を加えたパソコンについては動作保証致しません。
- 各OSからアップグレードしたパソコンでは動作保証致しません。